

# 樹木のケムシ退治



United Phosphorus

農林水産省登録第3233号  
DEP乳剤

## 緑化用

# ディプテレックス® 乳剤

®は登録商標



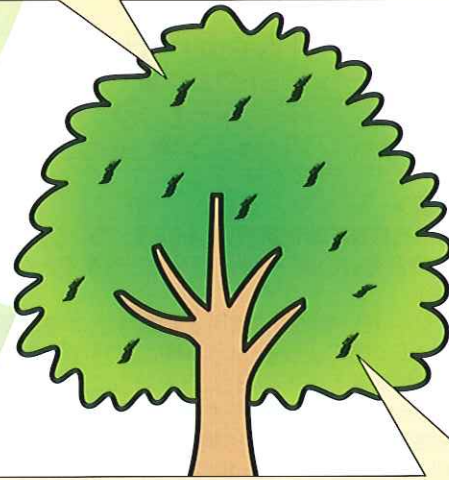
アメリカシロヒトリ

年2回（一部3回）の発生。幼虫は5～7月と8～9月に発生。



イラガ

年1回の発生。幼虫は7～8月に発生。



モンクロシャチホコ

年1回の発生。幼虫は8～10月に発生。



チャドクガ

年2回の発生。幼虫は6月と8～9月に発生。

食用作物には使用できません。使用前にはラベルをよく読んでください。ラベル記載以外には使用しないでください。小児の手の届く所には置かないでください。

販売元



## サンケイ化学株式会社

取扱い

東京本社 〒110-0005 東京都台東区上野7-6-11 ☎(03) 3845-7951  
深谷分室 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1 ☎(048) 551-2122  
大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目5-1 ☎(06) 6305-5871



# 緑化用

# ディプロテックス® 乳剤

農林水産省登録 第3233号  
 (コーピーエルジャパン(株)登録)  
 有効成分：DEP 50.0%  
 性状：赤色可乳化油状液体  
 毒性：劇物

### 特長

本剤は浸透移行性があり接触毒、食毒、ガス毒の諸作用により広範囲の害虫に優れた防除効果を示します。特にチョウ目等に卓効を示します。

### 適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DEPを含む農薬の総使用回数
樹木類 (さんごじゅを除く)	ミノガ類、シャクトリムシ類	1000倍	200～ 700ℓ /10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内
	ケムシ類	1000～ 1500倍					
さんごじゅ	アブラムシ類、ワタノメイガ ミノガ類、シャクトリムシ類	1000倍					
	ケムシ類	1000～ 1500倍					
まつ類	ハバチ類			幼虫期			
桑	クワノメイガ、アメリカシロヒトリ ヒシモンヨコバイ、ハゴロモ類			摘採14日 前まで			
芝	スジキリヨトウ		1～1.5ℓ /1㎡				
花き類・観葉植物 (カーネーション、 宿根かすみそう、 ほおずきを除く)	ヨトウムシ類	1000倍	100～ 300ℓ /10a	発生初期			
カーネーション 宿根かすみそう	ハモグリバエ類 ヨトウムシ類						
ほおずき	テントウムシダマシ類 カメムシ類、ヨトウムシ類						

### <注意事項>

- 使用量にあわせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はしないでください。
- 芝のスジキリヨトウ防除に使用する場合は、本剤の所定希釈液を1㎡当り1～1.5ℓ芝の上からじょうろ等により全面に灌注してください。
- 桑の害虫に対する散布の場合、老令幼虫に対しては効果が不十分な場合もあるので、若令幼虫を主体に使用してください。なお、養蚕地帯、稚蚕飼育場等の周辺では飼育期間中の使用は避けてください。
- 自動車に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 蚕に対して影響があるので、桑に使用後14日間は蚕に桑葉を給餌しないでください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
  - ②養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡する等、周辺への飛散に注意し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ハウス内で散布した後は十分に換気してから入室してください。

- 医薬外用劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には、吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 火災時は、適切な保護具を着用し消化剤等で消化に努めてください。
- 漏出時は、保護具を着用し、布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 飲めません。
- 有効年月内に使用してください。
- 体調の悪いとき、妊娠中、飲酒後等は取扱い及び作業をしないでください。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は警察に届け出てください。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない人が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。



作成日 2008年03月03日  
改訂日 2012年5月7日(第4版)

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 ディブテレックス乳剤  
会社名 保土谷UPL株式会社  
住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目4番1号 常和八重洲ビル  
担当部門 事業部 営業グループ  
電話番号 03-5299-8212 FAX番号 03-5299-8283  
メールアドレス hodogayaupl@hodogaya-upl.com  
緊急連絡先 保土谷UPL株式会社 事業部 営業グループ  
電話番号 03-5299-8218  
整理番号 0202

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼損傷/眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分1B
	標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分1(中枢神経系、視覚器、 全身毒性)
標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用) 区分1(中枢神経系、視覚器)	
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分2

\*記載がないものは、分類対象外または分類できない

#### GHSラベル要素:

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報: 引火性の高い液体及び蒸気  
飲み込むと有害

軽度の皮膚刺激  
重篤な眼への刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
臓器（中枢神経系、視覚器、全身毒性）の障害  
呼吸刺激を起こすおそれ、または眠気やめまいのおそれ  
長期にわたるまたは反復暴露による臓器（中枢神経系、視覚器）の障害  
水生生物に非常に強い毒性  
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き：

[予防策]

使用前に取扱い説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
指定された個人用保護具を使用すること。  
容器を密閉しておくこと。  
火花・裸火のような高温の着火源になるものから遠ざけること。一禁煙。  
保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。  
容器を接地すること。アースをとること。  
防爆型の機器を使用すること。  
静電気対策に対する予防措置を講ずること。  
火災を発生しない工具を使用すること。  
取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

[対応]

環境への放出を避けること  
火災の場合には消火に適切な手段を使用すること。  
皮膚にかかった場合、直ちに汚染された衣服を脱ぎ、石鹼と流水で洗うこと。  
飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師の診断を受けること。口をすすぐこと。  
皮膚刺激または発疹が生じたときは医師の診断／手当てを受けること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。  
取り扱った後、よく手を洗うこと。  
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は医師に連絡すること。  
汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。  
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。  
漏出物を回収すること。

[保管]

涼しく、換気のよい場所で施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物  
化学名および一般名 ジメチル-2, 2, 2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホネート

(一般名：DEP、トリクロホン)

成分	DEP	メタノール	ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル	ヘキシルグリコール	乳化剤等
含有量 (%)	50.0%	34.0%	5.5%	2%	10.5%
化学特製 (示性式)	$C_4H_8Cl_3O_4P$	$CH_3OH$	$C_9H_{19}C_6H_4O(C_2H_4O)_nH$	$C_6H_{14}O_2$	—
官報公示整理番号					
化審法	なし	(2)-201	7-172	(2)-240	—
安衛法	2-(3)-110		既存		—
CAS NO.	52-68-6	67-56-1	68412-54-4	107-41-5	—
化学物質管理促進法	第1種・225		第1種・410		—

#### 4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を速やかに空気の新鮮な場所へ移動させる。異常が現れた場合には、直ちに医師の診療を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹸でよく洗浄する。洗浄後、異常がある場合は医師の診療を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行き渡るように洗う。医師の診療を受ける。
飲み込んだ場合	: 口の中をすすぎ、多量の水を飲ませ、直ちに医療処置を受ける。吐かせてはならない(揮発性液体を含むので、吐かせるとかえって危険が増すことがある)。意識のない時は口から何も与えてはならない。
治療法	: 本剤は有機リン系農薬を含む製剤のため、治療法としては硫酸アトロピン製剤又はPAM製剤の投与が有効との報告がある。

#### 5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末、泡沫、炭酸ガス、砂、水
消火方法	: 消火活動には適切な保護具(自給的呼吸保護具等)を着用する。加熱されることにより有害ガスが発生することがある。蒸気、煙等の吸入を避ける。消火水が下水や河川に流れ込まないように適切な処置をとる。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 処理作業の際には保護具(保護衣、保護メガネ、保護マスク等)を着用し直接触れたり、ガスやミストを吸い込まないようにする。
環境に対する影響	: 漏出した物質や洗浄水が河川、下水、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作業に飛散しないよう注意する。
除去方法	: 漏出物は土、砂等に吸収させ、密閉容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。
二次被害の防止	: 付近の人を風上に避難させ、周辺にロープを張るなどして漏出現場への人の立ち入りを禁止する。風下では作業をしない。付近の着火源となるものは取り除く。

#### 7. 取扱及び保管上の注意

取扱い	: ラベルをよく読むこと。 局所的排気装置を設置し、換気のよい場所で取扱う。 適切な保護具を着用し、ガスやミストの吸入したり、眼、皮膚に触れないよう注意する。 容器を開封する時は内容物の吹き出し、飛散に注意する。着火源となるものの付近では取扱いをしてはならない。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。作業後は速やかに手足、顔等を石鹸でよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
-----	--

保管 : 容器を密閉し、換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない危険物・毒劇物倉庫に施錠して保管する。火気厳禁。盗難・紛失の際は警察に届ける。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗顔、洗面、うがい、安全なシャワー等の設備を設置する。

個人保護具 : 状況に応じた適切な保護具を着用する。  
保護メガネ、ゴーグル、保護面、保護マスク、保護衣（不透水性の長袖、長ズボン）、エプロン、ゴム手袋（耐油性）など。

## 9. 物理的および化学的性質

物理的状态

外 観 : 赤色可乳化油状液体

比 重 : 1.15

p H(1%) : 3.6

引火点 : 12.5°C

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点 : 83~84°C

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用条件下では安定。

危険な反応 : 知られていない。

危険な分解物 : 燃焼すると有害なガス (HCl、CO 等) が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口毒性 ラット♂ LD<sub>50</sub> 940mg/kg ♀ LD<sub>50</sub> 750mg/kg  
マウス♂ LD<sub>50</sub> 1,100mg/kg ♀ LD<sub>50</sub> 1,100mg/kg  
: 経皮毒性 ラット♂ LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg ♀ LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg  
マウス♂ LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg ♀ LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg

局所効果 : 皮膚刺激性 ウサギ 軽微な刺激性。500倍希釈液は刺激性なし。  
眼刺激性 ウサギ 刺激性あり。500倍希釈液は刺激性なし。

感作性 : モルモット 軽~中程度の感作性あり。

生殖毒性 : 区分1Bの物質 (メタノール) を34.0%含むため、混合物として区分1Bに分類される。

標的臓器/全身毒性 (単回暴露) :

区分1 (中枢神経系、視覚器、全身毒性)、区分3 (気道刺激性、麻酔作用) の物質 (メタノール) を34.0%含むため、混合物として区分1、3に分類される。

標的臓器/全身毒性 (反復暴露) :

区分1 (中枢神経系、視覚器) の物質 (メタノール) を34.0%含むため、混合物として区分1に分類される。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水産動植物に対する影響 : コイ LC<sub>50</sub> >101mg/L (96時間)

オオミジンコ EC<sub>50</sub> 0.00036mg/L (48 時間)  
藻類 EbC<sub>50</sub> 20mg/L (0-72 時間)

### 13. 廃棄上の注意

法、条例に従って安全に処理する。または廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。  
空容器は、内容物を使い切った後、3回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。農薬の空容器、空袋等の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法律を遵守し、適切に行う。

### 14. 輸送上の注意

国連分類 : 該当しない

国連番号 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

### 15. 適用法令

農薬取締法 : 第 3233 号

毒物及び劇物取締法 : 劇物 74 (医薬用外劇物)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 引火性液体 クラス 3.2

消防法 : 危険物第四類第 1 石油類 (水溶性液体)

労働安全衛生法 : 施行令別表 1 危険物 (引火性の物)

: 表示対象物 (メタノール)

: 通知対象物 (メタノール、ヘキシレングリコール)

化学物質管理促進法 : DEP 第 1 種指定化学物質 政令番号第 225

ポリキソエチレンノニルフェニエーテル 第 1 種指定化学物質 政令番号第 410

### 16. その他の情報

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番

一般市民専用電話

医療機関専用有料電話

(通話料のみ相談者負担)

(一件につき 2,000 円)

大阪 (365 日、24 時間対応)

072-727-2499

072-726-9923

つくば (365 日、9 時~21 時対応)

029-852-9999

029-851-9999



農薬登録票

登録番号 第 3233 号 登録年月日 平成23年11月12日

登録の有効期間 平成26年11月11日

農薬の種類 DEP乳剤  
 農薬の名称 ディブテレックス乳剤  
 物理的・化学的性状 赤色可乳化油状液体  
 有効成分の種類及び含有量 ジメチル-2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルエステル ..... 50.0%  
 その他の成分の種類及び含有量 乳化剤、有機溶剤等 ..... 50.0%

適用病害虫の範囲及び使用方法 (別記のとおり)

製造者又は輸入者の氏名及び住所 東京都港区赤坂一丁目12番32号  
 ユービーエルジャパン株式会社  
 代表取締役社長 野田 修

製造場の名称及び所在地 山口県防府市新田築地2061  
 バイエルクロップサイエンス㈱防府工場  
 新潟県新発田市佐々木2661-1  
 北興化学工業㈱新潟工場  
 岡山県岡山市北区延友454  
 山陽薬品㈱岡山工場

農薬取締法第6条の2第2項の規定に基づき 平成25年2月27日 付けをもって上記のとおり  
 変更の登録をしたので本票を書替交付する。

平成25年2月27日

農林水産大臣 林 芳正



(別記)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DEPを含む農薬の総使用回数
花き類・観葉植物 (カーネーション、 宿根かすみそう、 ほおずきを除く)	ヨトウムシ類	1000倍	100~300 Q/10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内
	カーネーション 宿根かすみそう						
ほおずき	テントウムシガミシ類 カミシ類 ヨトウムシ類	1000倍	200~700 Q/10a	幼虫期	6回以内	散布	6回以内
	樹木類 (さんごじゅを除く)						
さんごじゅ	アブラムシ類 ミナガミ類 シヤクトリムシ類 ウツメグ	1000倍	200~700 Q/10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内
	ケムシ類						
まつ類	ハナチ類	1000~1500倍	1~1.5 Q/m <sup>2</sup>	発生初期			
芝	シバノヨウ						
桑	クワノメイガ アマガシヒトリ ヒシモンゴカイ ハコトビ類	1000倍	200~700 Q/10a	摘採14日 前まで			